

高等教育の将来構想と
学士課程の構築の課題

中央教育審議会大学分科会制度部会
平成16年5月27日
館 昭（桜美林大学）

課題

課題(説明すべき事項)

- 学部制度、学士課程教育の現状と課題について
- 日本の学位制度の概要と特色について
- 諸外国の学士課程に関する最近の動向について

学士課程を中心としつつ、全体の見通しが得られるような基本的、統括的な説明

(具体的事項例)

- 学士課程教育の意義と役割
- 教養教育と専門教育の関係
- 学士課程のカリキュラムと修業年限(諸外国の動静も適宜含む)
- 「単位」の考え方とカリキュラムの充実
- (教育評価(その困難性、諸外国の取組も適宜含む))
- (ファカルティ・ディベロップメント)
- 学士課程教育と職業資格との関係
- 日本の学位制度の基本的構造(学位制度そのものの意義は大学院部会審議事項)
- その他

何ゆえ、「構築」が課題か

- 現行法令には「学士課程」がない
- 日本の学位と欧米のdegreeとでは、教育(学習)課程との関係が逆転している
- 専門教育と一般教育(教養教育)との関係で混乱がある
- 自由学芸専門と職業専門の区別がない
- 単位分の学習が、多くの場合、成立していない現状が続いている
- 「準学士課程」の議論と分離している
- 大陸欧州でも「学士課程」の設定が進んでおり、関係付けが必要になってきている

現行法令には
「学士課程」がない

「課程」は大学院のみ
(学校教育法第68条の2)

- 大学は、…、大学を卒業した者に対して学士の学位を、大学院(専門職大学院を除く。)の課程を修了した者に対し修士又は博士の学位を、専門職大学院の課程を修了した者に対し文部科学大臣の定める学位を授与するものとする。

第52条 (大学)

大学は学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。

第55条

- 大学の修業年限は、四年とする。…
- 医学、歯学又は獣医学を履修する課程については、前項の規定にかかわらず、その修業年限は、六年とする。

第65条 (大学院)

大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。

「大学教育」ということはできない
(学校教育法 第1条)

この法律で、学校とは、小学校、
中学校、高等学校、中等教育学
校、大学、高等専門学校、盲学校、
聾学校、養護学校及び幼稚園と
する。

「学部教育」という言い方もあるが？
(第54条)

- 大学には、学部を置くことを常例とする。ただし、当該大学の教育研究上の目的を達成するため有益かつ適切である場合には、学部以外の教育研究上の基本となる組織を置くことができる。

日本の学位と欧米の
degreeとでは、教育(学
習)課程との関係が
逆転している

1991年以前、日本の大学は制度的には
Universityではなかった

- University
= degree-granting institution
- 平成3年まで、学士は学位ではな
かった
- 大学には、大学院は置くことができる。
(学校教育法第62条)

-
- 日本
「卒業した、課程を修了した者に学位」の発想
 - 米、英
そもそも「学位課程」とする発想

学位課程とすれば

- 「正規課程」といった不正規な表現がいらなくなる
- 専攻科、別科など、学位外課程の位置づけが明確になる
- 教育成果からみたprogramの編成ができる

専門教育と一般教育
(教養教育)との関係で
混乱がある

教養はCulture(文化)

- 大学の「教養」 Liberal arts(学芸)
- 教養
文化に関する、広い知識を身につけること
によって養われる心の豊かさ・たしなみ。
(新明解国語辞典)
- Culture

Liberal arts(1)

Academic disciplines such as languages, literature, history, philosophy, mathematics, and science, that provide information of general cultural concern.

American Heritage Dictionary

Liberal arts(1) の訳

授業科目(ディシプリン)

広く文化に関わる情報を提供する、言語、文芸、歴史、哲学、数学及び科学等。

Liberal arts (2)

The disciplines comprising the trivium and quadrivium

American Heritage Dictionary

自由七科(Liberal Arts)

- 文法 grammar
 - 修辭 rhetoric
 - 論理 logic
 - 算術 arithmetic
 - 幾何 geometry
 - 天文 astronomy
 - 音樂 music
- } 三学 trivium
- } 四科 quadrivium

自由 = liberalとは？

- 古代ローマ
自由市民、奴隷でない
- 中世
直接に職業と結びつくものではない
紳士のもの
- 近代
直接に職業に結びつくものではない
知的な自立

リベラルアーツ Carnegie 2000

地域、民族及び文化研究	多元 / 学際研究
生物 / 生命科学	哲学及び宗教
英語及び英文学 / 文芸	物理化学
外国語及び外国文学	心理学
自由学芸及び科学 / 普通研究及び人文学	社会科学及び歴史
数学	視覚及び演技芸術

カリキュラムにできるのはリベラルアーツ！

Liberal artsの訳

授業科目(ディシプリン)

広く文化に関わる情報を提供する、言語、文芸、歴史、哲学、数学及び科学等。

専門と自由学芸は対立概念ではない

- 一般教育は、学習技能及び、

自由学芸系の諸disciplinesの理解を
中心とする

自由学芸専門と職業専門
の区別がない

大学は職業教育の場ではない？

学校教育法

- 大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする
- 目的に代えて、深く専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を育成することをおもな目的とすることができる。…短期大学と称する。

大学院

学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与する

2002年
→

学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与する

アメリカの専攻分野名 学士(1)

Agriculture and natural resources
Architecture and related programs
Business
Communications
Communications technologies
Computer and information sciences
Education
Engineering
Engineering-related technologies
Health professions and related sciences

アメリカの専攻分野名 学士(2)

Home economics and vocational home economics
Law and legal studies
Library science
Parks, recreation, leisure and fitness studies
Precision production trades
Protective services
Public administration and services
R.O.T.C. and military technologies
Theological studies/religious vocations
Transportation and material moving workers

アメリカの専攻分野名 第一専門職学位

dentistry (D.D.S. or D.M.D.)
medicine (M.D.)
optometry (O.D.)
osteopathic medicine (D.O.)
podiatric medicine (D.P.M.)
veterinary medicine (D.V.M.)
chiropractic (D.C. or D.C.M.)
pharmacy (D.Pharm.)
law (J.D.)
theological professions (M.Div. or M.H.L.)

専門と専門職

- 専門: 特定の分野をもっぱら研究・担当すること。また、その学科・事項など。 広辞苑
= special
普通、一般 generalに対して言う。
- 自由学芸(リベラルアーツ分野)の専門
職業分野の専門 専門職 profession

プロフェッショナル professional

- プロフェッショナルはプロフェッションに従事する者を指し、プロフェッションは相当の訓練と専門化した学習を必要とする職業 (Webster)
- プロフェッションはプロフェスprofess、すなわち明言することを意味し、したがってプロフェッショナルは人に説明できる者をいう
- 西欧伝統社会では法曹、医師、神職のみ、近代では技師、経営者等に拡大、現在ではほとんどの職業がプロフェッショナル化

ドイツ近代大学における研究

Ben-David

19世紀前半のドイツ大学は基礎科学と人文学を教育するところであった。近代大学を象徴する哲学部のみならず、中世以来、大学の主要任務であった医師、法律家、聖職者の教育の場合にも、これらの学問が重視され、実務的な職業教育は行われなかった。医師の教育においても、大学では基礎科学が重視され、実践の教育は徒弟教育にゆだねられていた。

アメリカ近代大学における研究

Ben-David

近代科学の衝撃を受けて始まった専門職業教育の改革では、問題解決的な研究を包み込んだ自由な科学研究が、職業教育における実践性と両立した。プロフェッショナル・スクールは、学生を特定の専門職業人としての実践的な能力を養成する場と考えられ、卒業後直ちに独立立ちすることができるように教育することに努力が注がれた。

単位分の学習が、多くの場合、成立していない現状が続いている

1991年 設置基準の大綱化

- 大綱的基準のもとでのカリキュラムの自由な編成
- 一般教育と専門教育の区分の廃止
- 数量的な基準から質的な基準へ

- 自己点検・評価

量的基準から質的基準へ

- 一般教育科目
 - 人文
 - 社会
 - 自然 単位以上
- 外国語科目 以上
- 保健体育科目 以上
- 専門教育科目 以上
- 教育課程の編成に当たっては、大学は、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮しなければならない。

起こったこと

- 教養部の廃止(全学出動体制)
- 体系より選択
- 単位の空洞化(双方向授業?)
- 冊子型「シラバス」
- 少人数教育、新入生ゼミ
- 自己点検・評価 「現状と課題」

1単位45時間の構成

- 講義・演習

授業時間 15 ~ 30時間

時間外学修 30 ~ 15時間

- 実験・実習・実技

授業時間 30 ~ 45時間

時間外学修 15 ~ 0時間

1単位45時間の意味

- 1日 8時間

1週間 45時間

(8時間 × 5日 + 5時間 = 45時間)

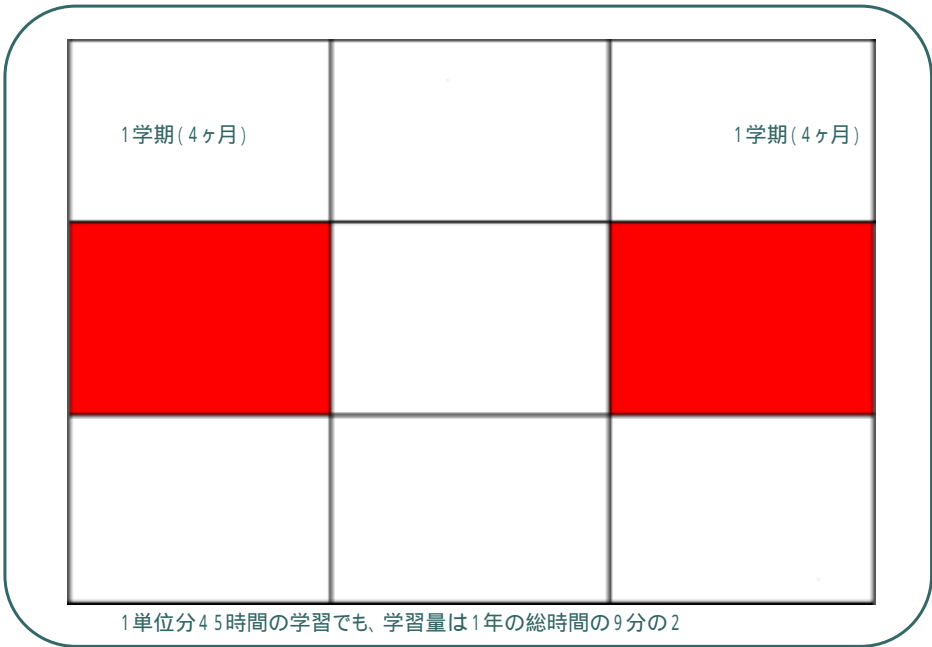
- 労働 = WORK = 学習

卒業単位120(124)単位の意味

- 1単位 = 1週間分の学修
- 1学期(セメスター)
 $1 \text{ 単位} \times 15 \text{ 週間} = 15 \text{ 単位}$
- 1学年
 $15 \text{ 単位} \times 2 \text{ 学期} = 30 \text{ 単位}$
- 学士課程(4年間)
 $30 \text{ 単位} \times 4 \text{ 学年} = 120 \text{ 単位}$

2単位の講義科目の場合

- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| ● 教室内 | | ● 教室外 | |
| 週1回 | 2時間 | 各週 | 4時間 |
| 1学期 | 15回 | 1学期 | 15週間 |
| 合計 | 30時間 | 合計 | 60時間 |



1単位を15時間分の授業だけで与えた場合の学習量は27分の2

冊子型「シラバス」の問題性

- 科目選択に使うには大部で一覧性がない
- 個々の授業で使うには情報が不足する
- 印刷製本のために早くに提示しなければならぬ
- 費用が高額、重くて持ち運べない
- 起源であるはずのアメリカに無い

「準学士課程」の議論と
分離している

第69条の2（短期大学）

大学は、……に掲げる目的に代えて、深く専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を育成することをおもな目的とすることができる。

準学士の学位化傾向

- アメリカ
 - associate degree

- イギリス
 - 1997年デアリング・レポートでsub-degreeの強化、拡大
 - 現在、foundation degree

短大は生涯学習社会の要

- アメリカでは、新1年生の半数が2年制大学に入学

- 4年制大学以上に幅広し年齢層の学生

大陸欧州でも「学士課程」の
設定が進んでおり、関係付け
が必要になってきている

1999年 ボローニア宣言

- ヨーロッパ30カ国以上
- 学士(少なくとも3年)と修士の2段階モデルの導入
(比較可能な学位、労働市場への適応)
- アメリカ、オーストラリアの超国家的教育展開に対抗

日本の学士課程の3年化に繋げる前に 考慮すべき点

- 実質的に、イギリスが標準
- 学士課程は専門教育
- 就学年齢が5歳
- 米、日の高卒では直接進学はできない
- 米、日の学士課程は一般教育を含み、4年課程が標準